

佐々木振興局長から表彰状を受け取る高橋日菜生徒会副会長（中央）



### 金ケ崎中学校が厚生労働大臣表彰受賞

金ケ崎中学校が、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。同校が長年取り組んでいるボランティア活動が評価されての受賞。1月26日、県南広域振興局佐々木隆局長から同校生徒会役員に表彰状が伝達されました。

記念式典で挨拶する菊地会長



### かみしも結いの会 20周年記念式典開催

かみしも結いの会（菊地芳子会長）が1月24日、結成20年を記念して式典と懇談会を開催しました。菊地会長はこれまでの歩みを振り返り、「今後も5年、10年と明かりを灯し続けていきたい」と活動の継続を誓いました。

### 岩手県「元気なコミュニティ特選団体」に荒巻自治会が認定

荒巻自治会（菅原英男自治会長）が、県の「元気なコミュニティ特選団体」に認定されました。荒巻自治会は、新旧住民の交流を積極的に推進しているほか、自主防災組織で行う防災訓練も25年継続して行っており、その活動が他の模範となると評価されました。菅原自治会長は「自分たちの活動が認められてうれしい。今後も元気が出る活動を続けていきたい」と笑顔を見せました。



認定書を手にする菅原自治会長（中央）

### 本館尚之さんが胆江地方農業青年奨励賞を受賞

本館尚之さん（和光）が、胆江地方農林業振興協議会（高橋由一会長）から胆江地方農業青年奨励賞を受賞しました。本館さんは20代で酪農経営に就農。自身の飼養管理技術の研さんに務めるほか、地域の若手酪農家と協働して自給飼料生産に取り組み、地域の酪農振興に貢献しています。本館さんは「仲間の支えがあってこそ。若い青年が意欲を持って取り組むことが大切」と決意を語りました。



高橋会長から表彰状を受け取る本館さん（左）

### 「第32回ヤンマー学生懸賞論文・作文」作文の部 千田朋美さん（県立農大2年）が金賞受賞

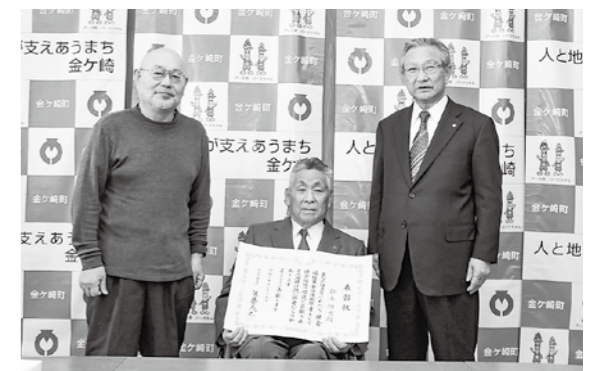
県立農業大学校農産園芸学科果樹経営科2年の千田朋美さんが、第32回ヤンマー学生懸賞論文・作文の作文の部で最高賞の金賞を受賞しました。作文のタイトルは「農業に恩返し」。高校卒業後、看護学校に進学したが自身の将来に疑問を持ち始めた千田さん。体調を崩して休みがちになった際に叔母の家で経験した農作業が転機となって県立農大に入学。同校で病害虫の防除技術や効率的な優良品種開発の重要性を実感。岩手大学に編入学し、植物病理学を学び食糧の安定生産に貢献すること、社会的な繋がりが弱い人を農業という職に届けることを夢に、「熱意を秘めて着実に進んでいきたい」と強い決意で結んでいます。千田さんは「頑張ってきたことが認められて素直にうれしい。間接的になるかもしれないが、お世話になった人に恩返ししていきたい」と力強く話しました。



表彰盾を手に取り、笑顔を見せる千田さん

### 鈴木伸也さんが厚生労働大臣表彰を受賞

町身体障害者福祉協会理事の鈴木伸也さん（清水端）が、長年にわたり地域福祉に貢献したとして、厚生労働大臣表彰を受賞しました。鈴木さんは、（公社）全国脊髄損傷者連合会岩手支部長や町身体障害者福祉協会の役員として長年活動し地域福祉や障がい福祉の向上に尽力しました。1月20日、高橋由一町長から表彰状の伝達を受けた鈴木さんは「今回の表彰に恥じないよう生きていく」と誓いました。



表彰状を手に取り、笑顔を見せる鈴木さん（中央）

菊地組合長（左）から感謝状を受け取る高橋由一町長（右）



### 収入保険加入促進で町に感謝状

町は、農業者の経営安定のため、収入保険制度の保険料を助成し収入保険の加入促進に貢献したとして、全国農業共済組合連合会から感謝状を受けました。1月26日、県農業共済組合菊地一男組合長から高橋町長へ感謝状が伝達されました。

ディスプレイを使って課題研究の成果を発表する金高生



### 金高生が課題探究の成果を発表

金ケ崎高校の探究型学習発表会が1月11日、中央生涯教育センターで開かれました。2年生自らがテーマを設定し、取材などで調べた研究の成果を発表しました。発表会には町内企業の社員や団体職員のほか、地域住民も訪れました。

### 明治安田生命保険相互会社と包括連携協定締結 地方創生の推進へ連携を強化

町は、1月24日、明治安田生命保険相互会社岩手南支社と地方創生の推進に関する包括連携協定を締結しました。人口減少や高齢化に対応するため、健康づくり支援や出会い・子育て支援、教育、地域経済活性化などの分野に両者が連携して取り組みます。明治安田生命保険相互会社村尾和義岩手南支社長は「まちのために支援できることを精一杯提案しサポートしたい」と誓いました。



協定書を手にする村尾岩手南支社長（左）と高橋由一町長（右）